

平成24年度 第1回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会

日 時 平成24年5月23日(水)

午前10時から正午まで

場 所 行政庁舎2階第2入札室

次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

- (1) 建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会設置について
- (2) 建設資材の需給見通し及び安定供給に向けた課題等について
- (3) 今後の進め方について

4. 意見交換

5. 閉 会

建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会設置要綱（案）

（設置）

第1 宮城県内における建設資材の安定供給を図り，復旧・復興事業の円滑な施工に寄与することを目的に，建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会（以下「宮城県分会」という。）を設置する。

（掌握事項）

第2 宮城県分会は，次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 建設資材の動向及び需給見通し等に関する事。
- (2) 建設資材の安定供給に向けた検討に関する事。
- (3) 各機関，団体間における需給の調整に関する事。
- (4) その他必要と認められる事項に関する事。

（宮城県分会）

第3 宮城県分会は，会長，副会長及び会員をもって組織し，別表1に掲げる職にある者をもって構成する。

- 2 会長は，会務を総理する。
- 3 副会長は，会長を補佐し，会長に事故あるときは，その職務を代行する。
- 4 会長は，検討課題に応じて会員以外の関係者を会議に招集することができる。

（会議）

第4 宮城県分会の会議は，会長が招集し，その議長となる。

（庶務）

第5 宮城県分会の庶務は，宮城県土木部事業管理課において処理する。

（専門部会）

第6 建設資材に関する個別の課題検討，調整を円滑に行うため，宮城県分会に専門部会を置く。

- 2 専門部会は，項目に応じて，項目毎に会長が関係機関，団体の者から部会員を任命し，部会員の中から部会長を選任する。
- 3 専門部会の部会長は，その審議状況について宮城県分会の会長に報告するものとする。

（地区連絡会議）

第7 宮城県内沿岸3地区（仙台・東部・気仙沼土木事務所管内）に，各地区内における建設資材に関する調査，個別の調整等を行うために，地区連絡会議を置く。

- 2 地区連絡会議は，その審議状況について宮城県分会の会長に報告するものとする。

（経費）

第8 宮城県分会の運営に必要な経費は，各構成機関において負担する。

（その他）

第9 この要綱に定めるもののほか，分会の運営に関し必要な事項は，別に定める。

（付則）

この要綱は、平成24年5月23日から施行する。

別表1

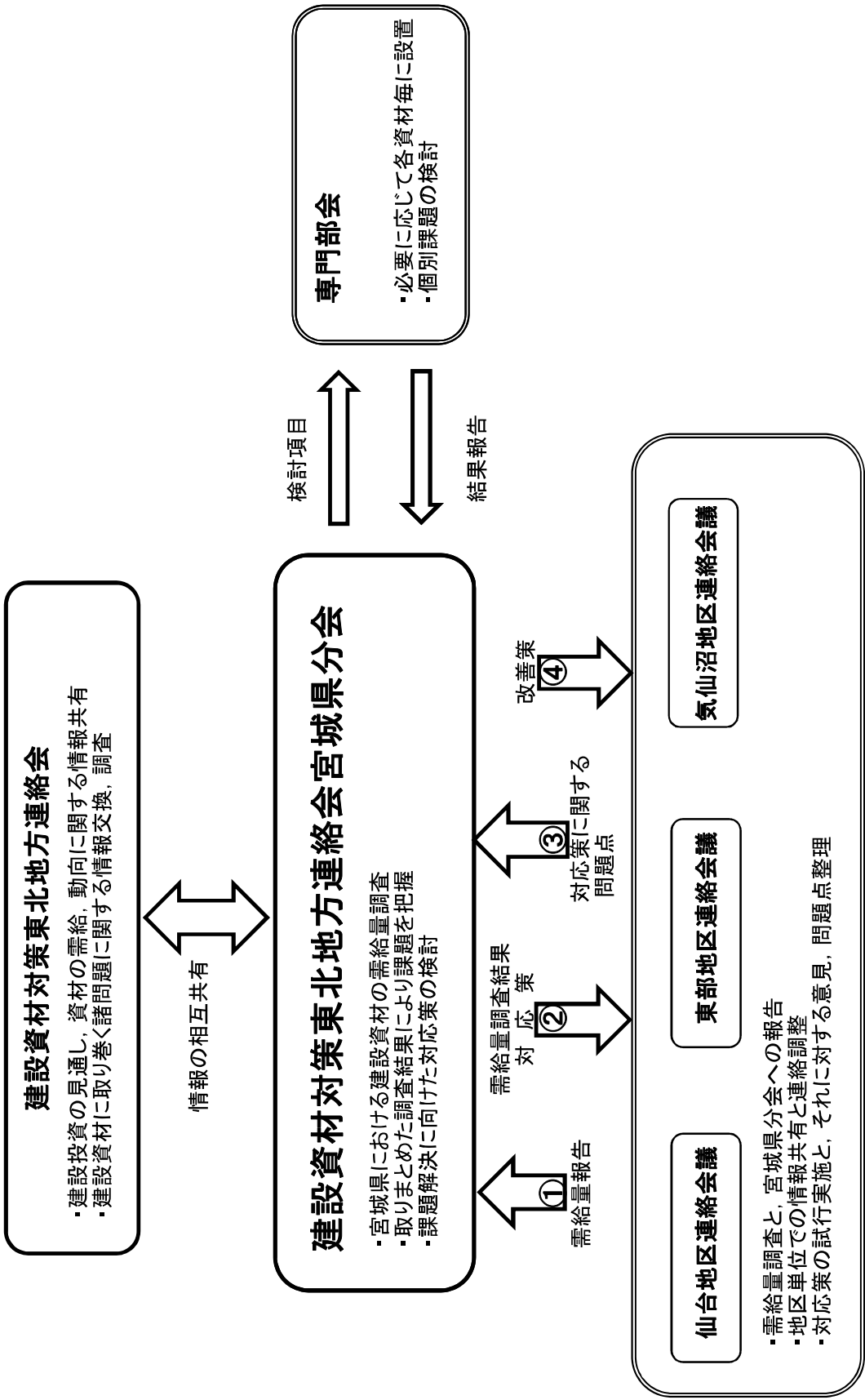
建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会 会員

	構成機関	会員
発注機関	農林水産省 東北農政局 東北森林管理局 国土交通省 東北地方整備局 宮城県 環境生活部 農林水産部 土木部 仙台市都市整備局 宮城県道路公社 東日本高速道路株式会社東北支社 東日本旅客鉄道株式会社仙台支社	整備部防災課長 治山課長 <input type="checkbox"/> 企画部技術管理課長 震災廃棄物対策課長 農村振興課長 森林整備課長 技術参事(漁港整備担当) <input type="radio"/> 次長(技術担当) <input type="checkbox"/> 事業管理課長 仙台土木事務所長 東部土木事務所長 気仙沼土木事務所長 技術管理室長 建設部長 技術部技術管理課長 総務部企画室長
建設業者 団体	(社)宮城県建設業協会 (社)日本建設業連合会東北支部 (一社)日本道路建設業協会東北支部	会長 支部長 支部長
資材業者 団体	宮城県生コンクリート工業組合 宮城県アスファルト合材協会 (一社)宮城県砕石協会 宮城県砂利工業組合 全国土木コンクリートブロック協会 東北地区連絡協議会 全国コンクリート製品協会東北支部 鉄鋼連盟 重仮設業協会	理事長 会長 会長 理事長 地区本部長 支部長 事務局長 事務局長

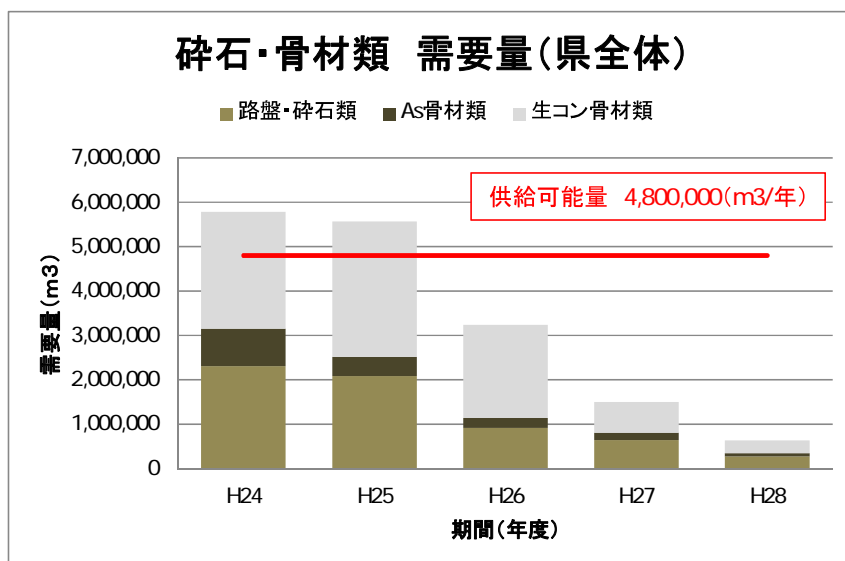
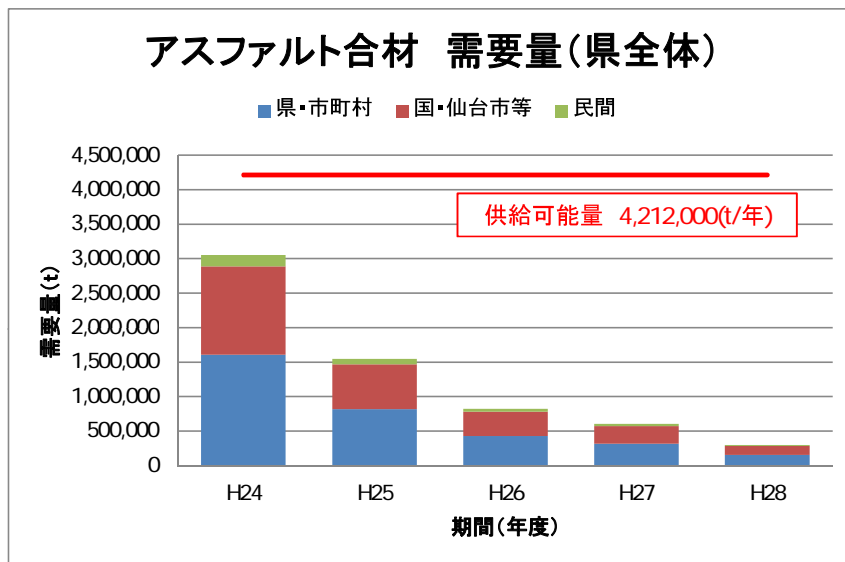
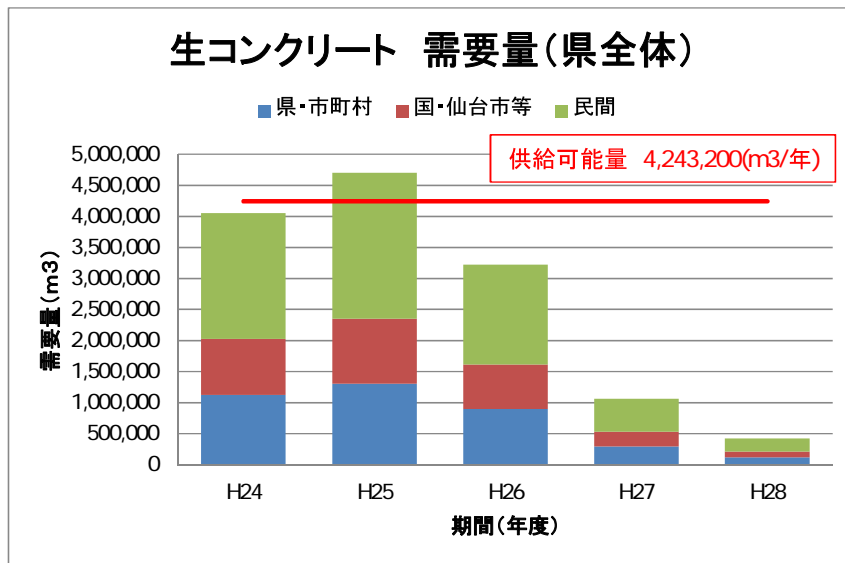
○印：会長 □：副会長
 事務局：宮城県土木部事業管理課

組織体制の概要

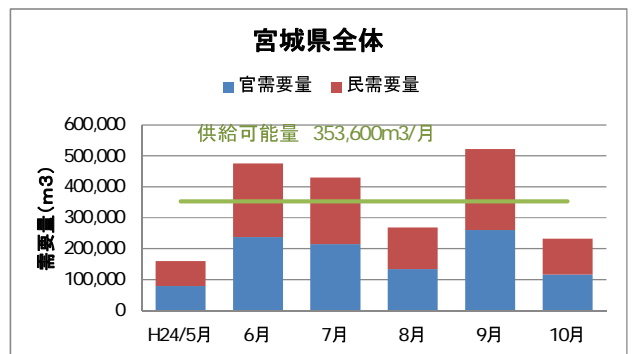
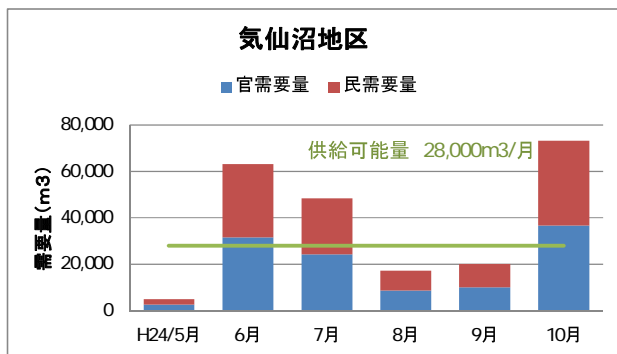
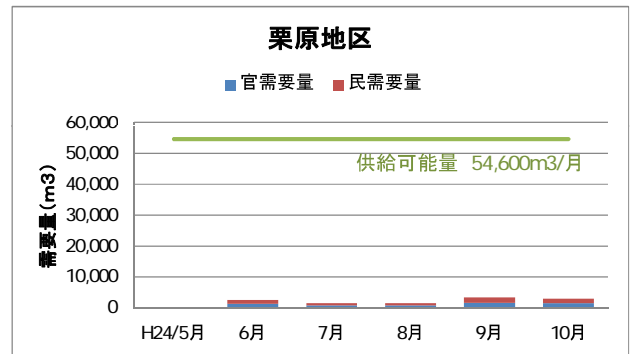
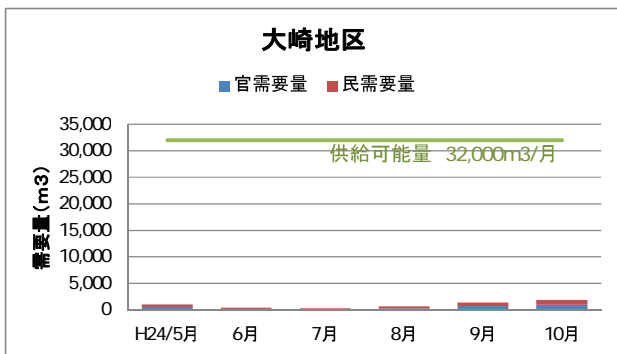
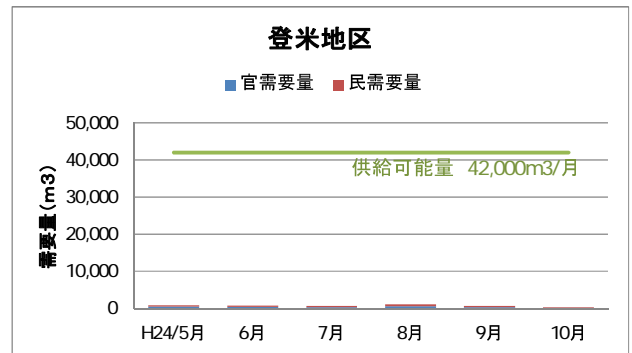
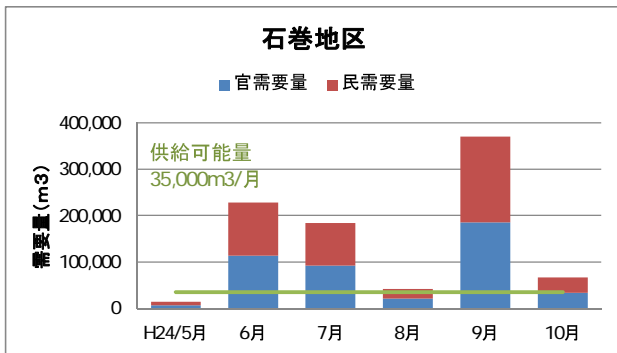
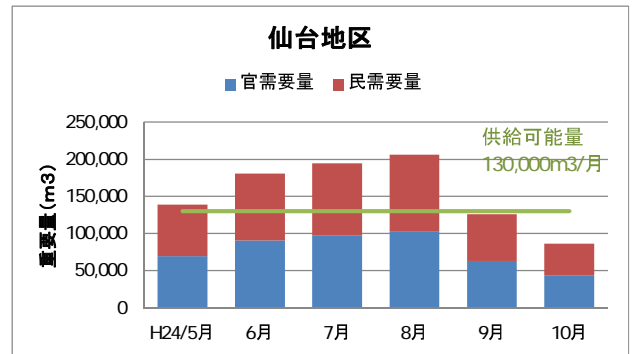
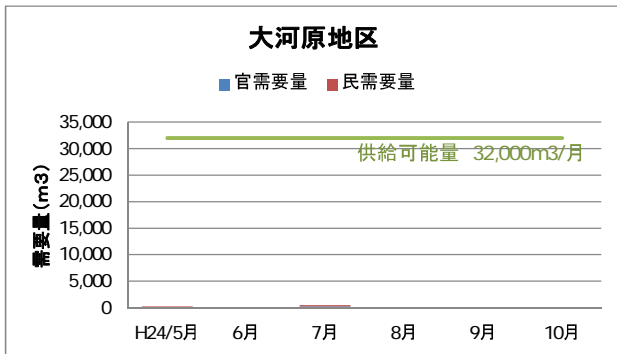
資料 1-2



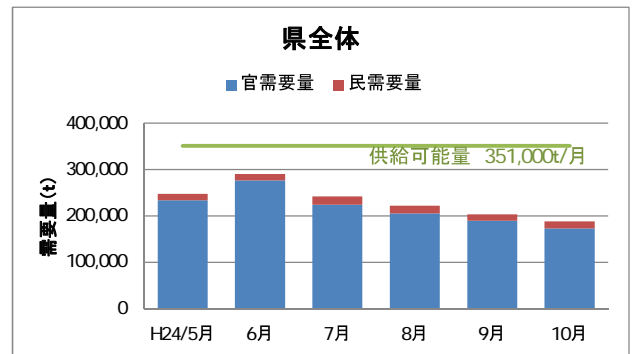
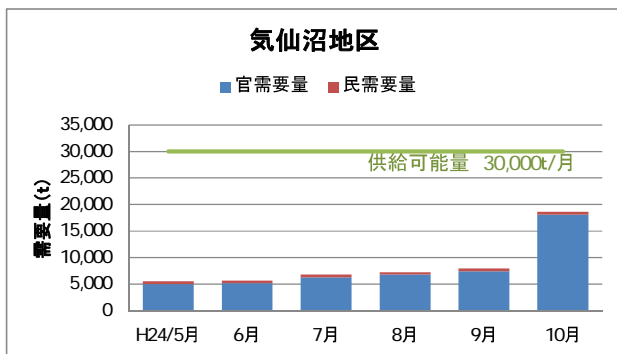
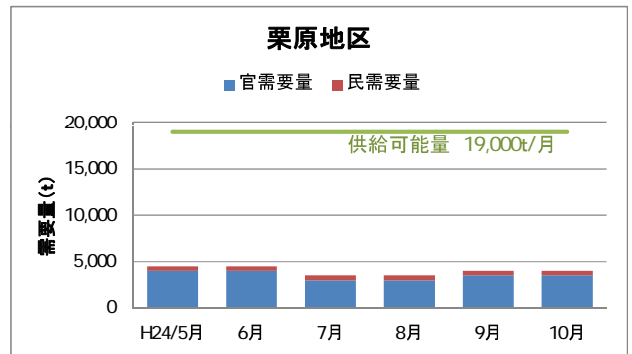
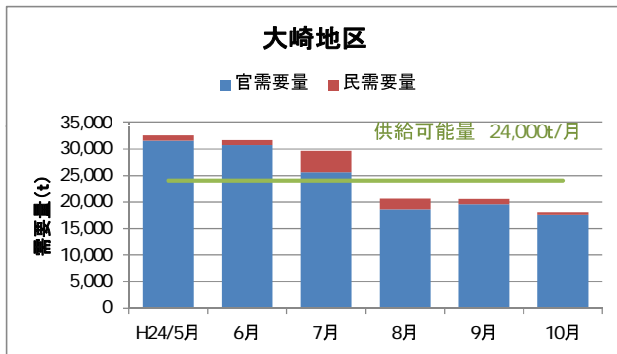
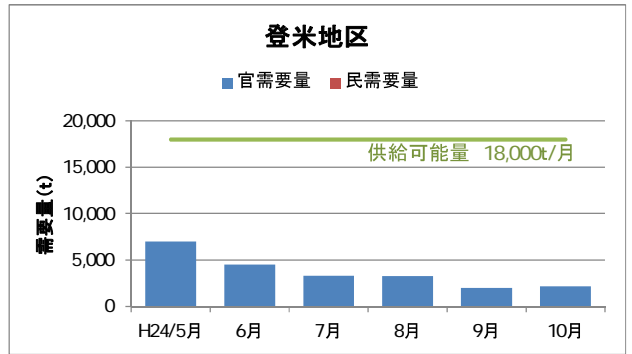
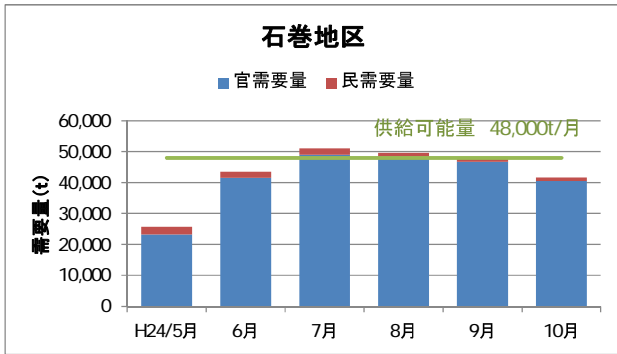
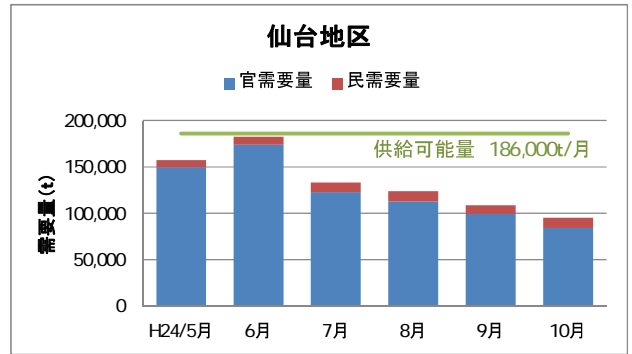
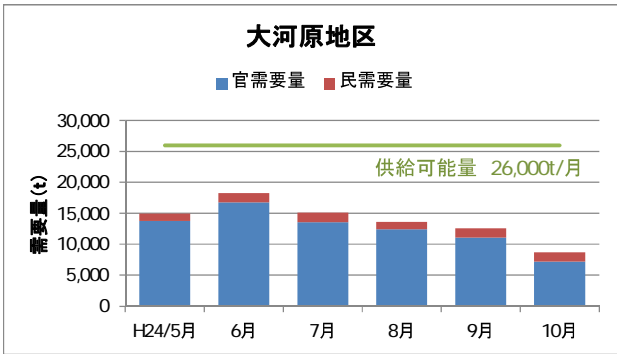
宮城県における建設資材の需給見通し(H24～H28)



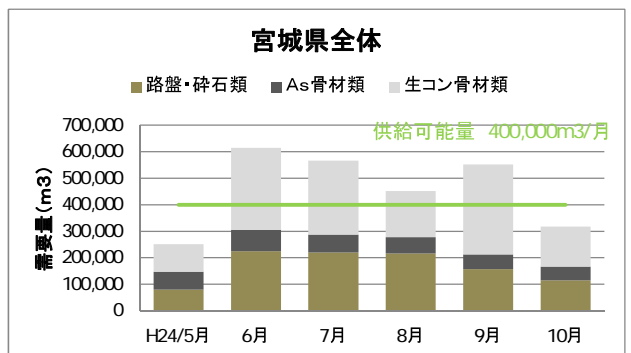
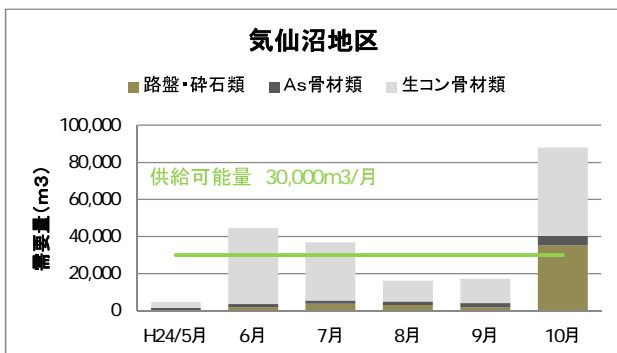
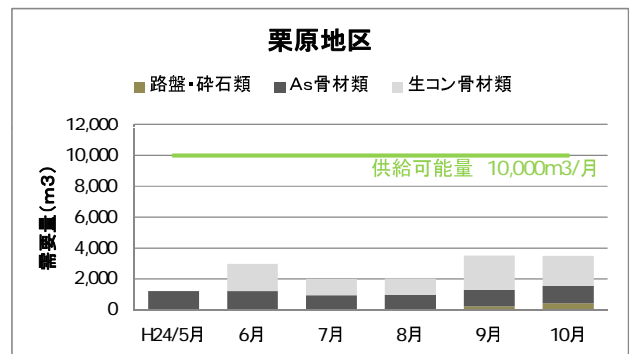
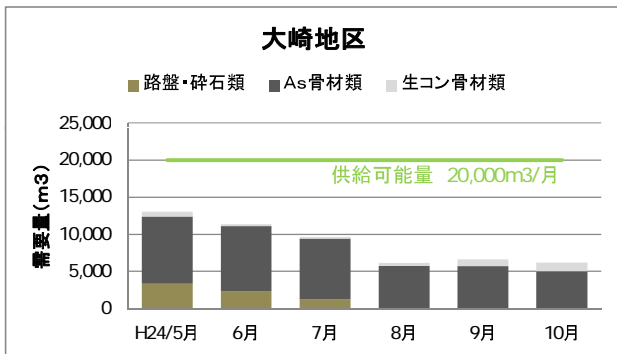
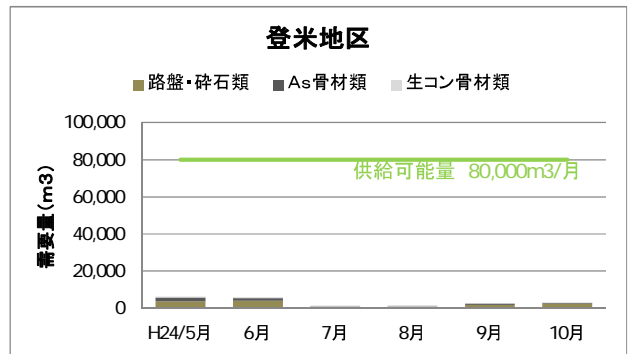
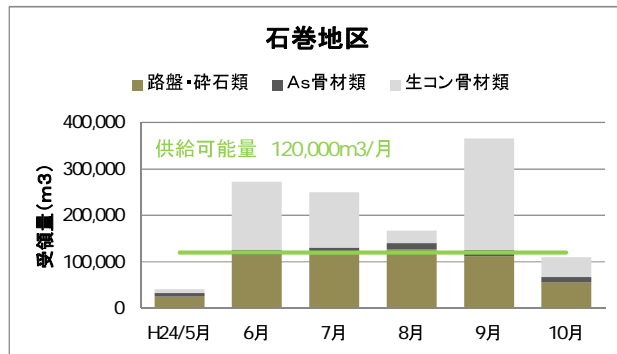
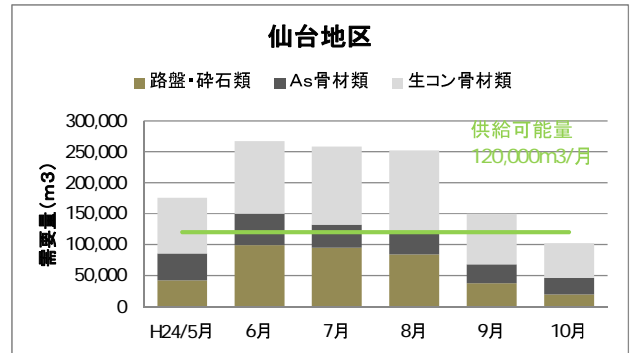
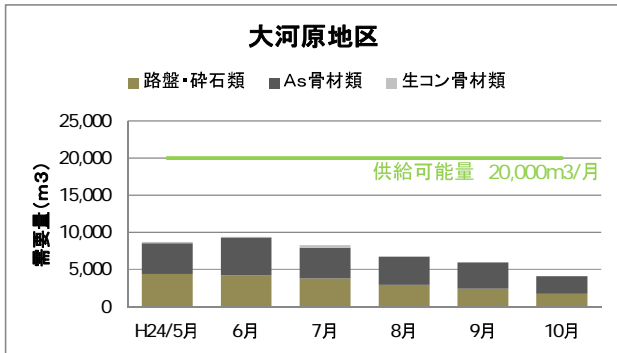
【生コンクリート】 地区別・月別需要量, 供給可能量(5月~10月)



【アスファルト合材】 地区別・月別需要量, 供給可能量(5月～10月)



【砕石】 地区別・月別需要量, 供給可能量(5月～10月)



建設資材の需給見通しの推計方法について

1 今後5年間（H24～H28）の需給見通しについて

県がH24年3月に独自に調査した県、市町村（仙台市を除く）における今後5年間の建設資材の需要量データをもとに、これを国、仙台市等の直近6カ月の需要量調査結果（建設資材対策東北連絡会調べ）により補正し、さらに民需を加算した推計需要量と、各資材業界から聴取した供給可能性をわかりやすくグラフに表したもの。

（1）需要量の推計

1）生コンクリート

- ①県・市町村：県（土木・港湾・漁港）、仙台市を除く市町村の災害復旧事業及び復興まちづくり事業を対象に今後5年間の需要量を調査。
- ②国・仙台市等：建設資材対策東北連絡会における直近6ヶ月の需要量調査結果から、「県（土木・港湾・漁港）、仙台市を除く市町村」と「国（国交省、農水省外）、仙台市、東日本高速道路(株)」の比率を参考に今後5年間の需要量を推計。
- ③民間：官民比率を1：1と想定（業界からの聞き取り）して推計

2）アスファルト合材

- ①県・市町村：1）①と同様
- ②国・仙台市等：1）②と同様
- ③民間：建設資材対策東北連絡会における直近6ヶ月の需要量調査結果から、「県・市町村、国・仙台市等」と「民間」の比率を参考に今後5年間の需要量を推計。

3）砕石類

- ①路盤・砕石類：県・市町村は上記1）①と同様、国・仙台市等は1）②と同様
- ②As骨材類：上記2）アスファルト合材の需要量（県・市町村、国・仙台市等、民間）に、アスファルト合材に占める骨材類の割合（0.65を想定）を乗じて推計。
- ③生コン骨材類：上記1）生コンクリートの需要量（県・市町村、国・仙台市等、民間）に、生コンクリートに占める骨材類の割合（0.65を想定）を乗じて推計。

（2）供給可能性の推計

各資材業界からの聞き取りにより推計（建設資材東北地方連絡会における直近6ヶ月の需給量調査結果から）

2 平成24年度の直近6ヶ月（5月～10月）のデータについて

「建設資材対策東北地方連絡会」で集計したデータをもとに、民間の推計量を加えた需要量と、各資材業界から聴取した供給可能性を、グラフに表したもの。

（1）需要量の推計

1）生コンクリート

- ①国・県・市町村等：「建設資材対策東北地方連絡会」の数値を採用。
- ②民間：官民比率を1：1と想定（業界からの聞き取り）して推計。

2）アスファルト合材

- ①国・県・市町村等：「建設資材対策東北地方連絡会」の数値を採用。
- ②民間：「建設資材対策東北地方連絡会」の数値を採用。

3）砕石等

- ①路盤・砕石類：官需要量のみとし「建設資材対策東北地方連絡会」の数値を採用した。
- ②As骨材類：上記2）アスファルト合材需要量の合計にアスファルト合材に占める骨材類の割合（0.65）を乗じて推計。
- ③生コン骨材類：上記1）生コンクリートの需要量の合計に生コンクリート全体に占める骨材類の割合（0.65）を乗じて推計。

（2）供給可能性の推計

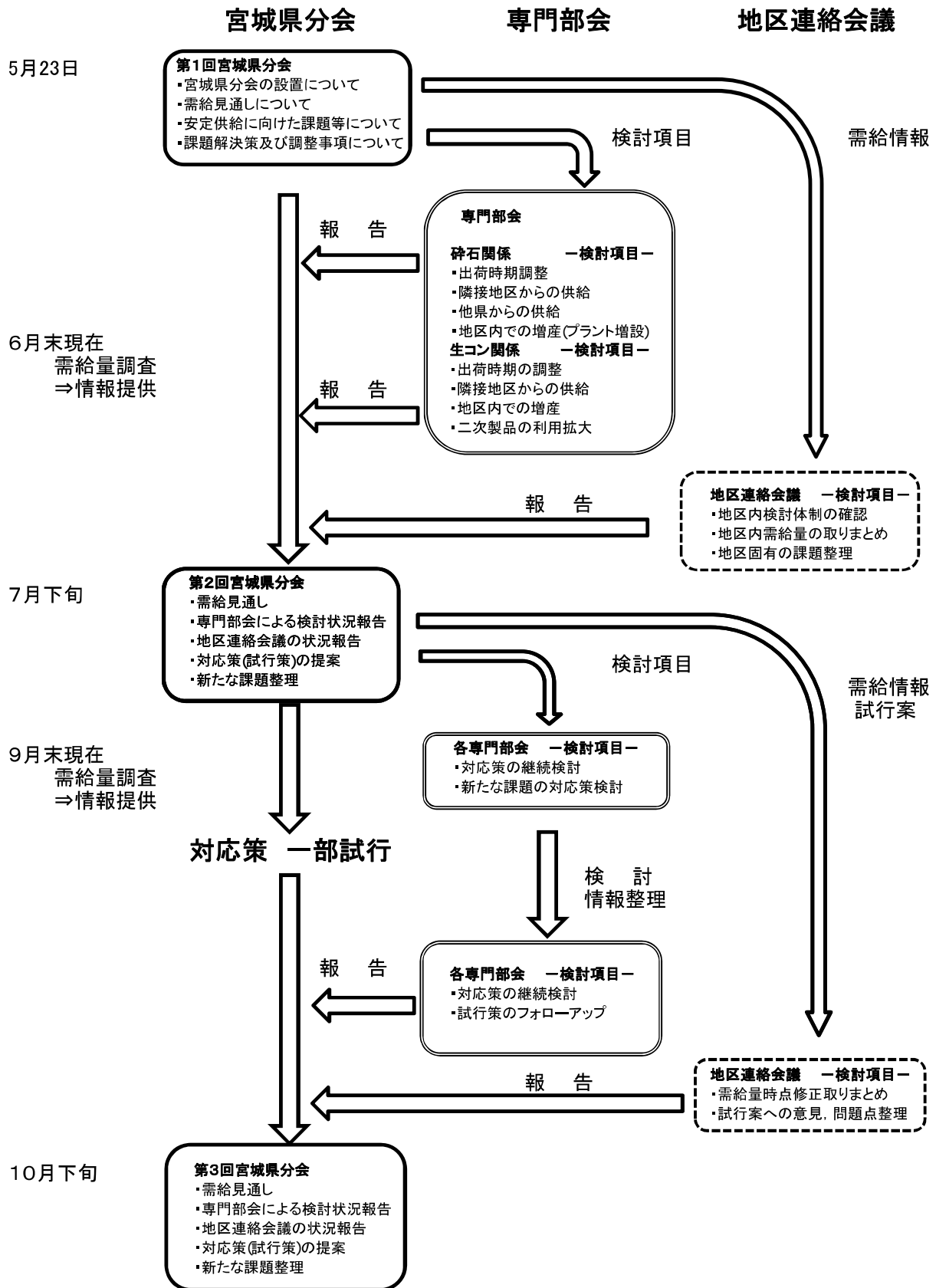
各資材業界からの聞き取りによる（建設資材東北地方連絡会における調査結果）

需給量調査結果及び聞き取り等から把握できる課題と、その対応策案

対象品目	課題	対策案
共通事項	① 需給量データの精度向上 ② 民間需要量の把握	・ 当会議を活用した定期的な需給量調査
生コン	① H26年度まで供給量が逼迫。H25年度は県全体で逼迫 H27年度以降は緩和傾向。(H24~H28全体データ) ② 月毎の変動が大きく、石巻、気仙沼地区も同傾向。 仙台地区は全体を通じて逼迫。(地区別・月別データ) ④ 骨材(粗骨材, 細骨材)の入手に苦慮 ⑤ 運搬車両が不足	・ 出荷時期の調整 ・ 隣接地区からの供給 ・ 地区内での増産(プラント増設, ミキサー船の活用等) ・ 二次製品の利用拡大
As合材	① 県全体では供給可能だが、地区毎では逼迫する地区あり。 (地区別・月別データ) ② 一時期に集中すると供給困難 ③ 再生材の入手が減少	・ 隣接地区からの供給
採石類	① H26年度まで供給量が逼迫。H25年度県全体で逼迫 H27年度以降は緩和傾向。(H24~H28全体データ) ② 月毎の変動が大きく、石巻、気仙沼地区も同傾向。 仙台地区は全体を通じて逼迫。(地区別・月別データ) ③ 利用種別毎(骨材, 路盤材等), 品質別(パーズン材, 再生材)の需要量把握 ③ 設備, 立地上の問題があり、これ以上の増産は困難	・ 出荷時期の調整 ・ 隣接地区からの供給 ・ 他県からの供給 ・ 地区内での増産(プラント増設)

..... : 以下は、これまでの聞き取り等によるもの。

今後の検討, 調整の進め方について



【様式-1】

災害復旧工事等に伴う建設資材の月別需要動向調査票

発注機関 〇〇〇事務所 (××地区)	工種	主要資材	単位	数量	平成24年度												平成25年度		平成28年度	
					6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上半期	下半期				
〇〇〇事務所 (××地区)	道路	アスファルト合材	t	0																
		生コンクリート	m3	0																
		砕石	m3	0																
		鉄筋	t	0																
		鋼矢板(本設)	t	0																
	河川	鋼矢板(仮設)	t	0																
		アスファルト合材	t	0																
		生コンクリート	m3	0																
		砕石	m3	0																
		鉄筋	t	0																
海岸	鋼矢板(本設)	t	0																	
	鋼矢板(仮設)	t	0																	
	アスファルト合材	t	0																	
	生コンクリート	m3	0																	
	砕石	m3	0																	
合計	鉄筋	t	0																	
	鋼矢板(本設)	t	0																	
	鋼矢板(仮設)	t	0																	
	アスファルト合材	t	0																	
	生コンクリート	m3	0																	
	砕石	m3	0																	
	鉄筋	t	0																	
	鋼矢板(本設)	t	0																	
	鋼矢板(仮設)	t	0																	
	鋼矢板(仮設)	t	0																	

- 地区別リ一覽表
- | 地区 | 該当市町村名 |
|-----|---|
| 大河原 | 白石市、須田町、七ヶ宿町、大河原町、碓田町、川崎町、丸森町 |
| 仙台 | 仙台市、塩釜市、名取市、多賀城市、岩手市、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村 |
| 石巻 | 石巻市、真松島市、安川町 |
| 登米 | 登米市 |
| 大崎 | 大崎町、美里町、加美町、色麻町、涌谷町 |
| 栗原 | 栗原市 |
| 気仙沼 | 気仙沼市、再三陸町 |

